



おもな内容

主な議案の内容と質疑	2・3
第2回定例会の日程	3
一般質問	4～9
行政視察報告	9
常任委員会の審査	10
審議結果一覧	11
旭市子ども議会	12

旭市いいおかYOU・遊フェスティバル2016

約10,000発の海浜花火大会をはじめ、ステージショー、みこしの練り歩き、ビーチバレーボール大会、宝さがしなど、二日間にわたり盛大に開催され、多くの方が楽しみました。

平成28年度 旭市一般会計補正予算

産地パワーアップ事業や畜産競争力強化 対策整備事業に9億200万円の補正

第2回定例会のあらまし

平成28年第2回定例会が、6月8日から6月23日までの16日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成28年度旭市一般会計補正予算、条例の制定、財産の取得、工事請負契約の締結、人事案件、専決処分承認など12議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・承認されました。

6月14・15・16日には一般質問が行われ、11人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

また、最終日の23日には、委員会から3件の発議案が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

主な議案の内容と質疑

補正予算

▼議案第1号

平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9億200万円を追加し、予算の総額を291億7,200万円とするものです。

歳出は、飼料用米等流通加速

化事業144万9,000円及

び産地パワーアップ事業3億3

76万2,000円並びに畜産

競争力強化対策整備事業に5億

9,678万9,000円を計上

し、歳入は全額県費補助です。

問 産地パワーアップ事業と畜産競争力強化対策整備事業

の内容と総事業費を伺います。

(林 晴道議員)

答 両事業とも国のTPP対策として制度化したもので、

産地パワーアップ事業は、生産

コスト削減と所得向上の取り組みとして集出荷場の再整備に

対して支援をするもので、総事業

費が7億3,930万円です。

畜産競争力強化対策整備事業

は、高収益型の畜産・酪農体制

を実現するため、酪農及び養豚

関係の建物の整備に対して支援

をするもので、総事業費は、来

年度を含めると28億2,919万円となります。

問 産地パワーアップ事業と畜産競争力強化対策整備事業

は、当初予算を上回る補正額ですが、なぜこの時期に補正をするのか。また、補助金の交付決定はいつなのか。(林晴道議員)

答 両事業とも本年1月に国の補正予算で措置されたもので、3月に県へ要望書を提出し、5月に事業実施の通知がありましたので、補正予算をお願いしました。また、交付決定は、7月上旬に補助金の交付申請をして、7月下旬に交付決定される見通しです。

条例の一部改正

▼議案第2号

旭市議会議員及び旭市長の選挙における選挙運動の公費負担に

関する条例の一部を改正する条例の制定について

公職選挙法施行令の一部改正により、選挙運動の公費負担の限度額が改められたため、市議会議員及び市長選挙における公費負担の限度額を改正するものです。

▼議案第3号

旭市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について

旭市医師会と匝瑳市医師会が平成28年4月1日に合併し、旭匝瑳医師会を発足したことに伴い、改正するものです。



第2回定例会の日程

6月8日(水) (開会)

- 人事の紹介
- 表彰伝達並びに記念品の贈呈
- 議長報告事項
- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上程
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明及び報告の説明

6月10日(金)

- 議案の質疑
- ◇追加日程
 - <討論・採決>
- 常任委員会へ議案・請願・陳情を付託

6月14日(火)

- 市政に関する一般質問

6月15日(水)

- 市政に関する一般質問

6月16日(木)

- 市政に関する一般質問

6月17日(金)

- 建設経済常任委員会

6月20日(月)

- 文教福祉常任委員会

6月21日(火)

- 総務常任委員会

6月23日(木)

- 常任委員長の議案・請願・陳情報告
- <質疑・討論・採決>
- ◇追加日程
 - 発議案の上程
 - 提案理由の説明
- <質疑・討論・採決>
- 議員派遣の件
- 事務報告

(閉会)

永年勤続表彰

第92回全国市議会議長会の定期総会で、市議会議員として永く地方自治の伸展に貢献されたことに對し、次の3名の方々が表彰されました。おめでとうございます。

議員在職20年以上表彰
林 正一郎 議員



林 正一郎 議員

議員在職10年以上表彰
平野 忠作 議員
島田 和雄 議員



島田 和雄 議員



平野 忠作 議員

工事請負契約の締結

▼議案第7号

工事請負契約の締結について
旭市立第一中学校校舎大規模改造工事について、一般競争入札を執行し、仮契約を締結したので、議会の議決を求めるもの



大規模改造工事が行われる旭一中校舎

です。

○契約金額

3億6,072万円

○契約の相手方

旭市二の1469番地
株式会社伊藤工務店

人事

▼議案第8号

旭市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
渡邊 満氏 関戸 新任

▼議案第9号

旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
鍋木 俊一氏 鍋木 新任

報告

▼報告第1号

平成27年度旭市一般会計繰越明許費繰越計算書について

▼報告第2号

平成27年度旭市一般会計事故繰

越し繰越計算書について

▼報告第3号

専決処分報告について(損害賠償の額の決定)

▼報告第4号

専決処分の報告について(金銭債権に係る訴えの提起及び和解)

※その他の議案については審議結果一覧(1P)をご覧ください。

熊本地震災害支援に義援金を送金



©2010熊本県くまモン#熊本支援

平成28年熊本地震により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。

6月8日の全員協議会で旭市議会として、今回の地震災害の被災地に義援金22万円を送ることを決め、6月22日に九州市議会議長会を通じて送金しました。

一般質問



市政に関する一般質問は6月14・15・16日の3日間行われ、11人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

行財政改革

持続可能な 財政運営を

(林晴道議員)

問

僕は責任世代としまして、次世代に高負担を強いることなく、将来に持続可能な財政運営と公共サービスを行うには、この激変する社会環境に耐え得る進化した体制の構築、再編整理を迅速かつ大胆に行うべきと考えますが、明智市長の見解をお示し願います。

答

新しい政策でも、二・三年たった事業は事務事業評価もやっているということ、こういったものは、これからの財政を考えた場合、全職員にも意識をもちたいという意味からも非常に大事なことでないのかなと思って取り組んでいるところです。無駄のない行政運営ということで、事務事業評価をしながら、職員そしてまた市民全員にも理解をもちたいということが大事なのかなと思って、これからもしっかりと継続していきたいと思っています。

施設の統廃合を

(林晴道議員)

問

時代に即したまちづくりには、施設の統廃合が必要となり、それには地域の事情や各種団体のご要望、調整が課題です。本市は明らかに改革の速度が遅い状況で、明智市長の力強い政治行政手腕のもとで、早期取り組みに対する見解をお示し願います。

答

公共施設等総合管理計画の中で、統廃合について、これから分野別、部門別の検討を加えながら、将来を見込んで真剣に議論していかねばならない時期ですが、例えば学校の問題、そして公民館の問題、あるいは各施設の問題、す



未利用地である旧飯岡中学校跡地

住民の要望と 今後の財政計画は

(高橋利彦議員)

問

高度経済成長期、バブル期に造られた公共施設の老朽化対策が課題で、旭市も大きな償却資産を保有しています。道路など市民生活に直接関係する住民からの要望への対応は、道路だけで17年かかるとのことですが、その事業費は、

また、今後の財政計画について伺います。

答

建設課へは、年間1,300件程度の要望が上がっています。併せて地区からの要望も年間20件程度を受けている状況です。このうち、道路または排水整備にかかわる規模

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。



林 晴道
議員

- 1 選挙について
- 2 知的財産権について
- 3 商工業の振興について
- 4 財政について
- 5 行政改革について



滑川 公英
議員

- 1 道の駅季楽里あさひについて
- 2 自治組織について
- 3 消防団について



磯本 繁
議員

- 1 大規模震災等の対策について
- 2 高齢者対策について
- 3 定住施策について

が大きい要望については、合併以前から含めると300件以上ありますが、全体の事業費については、把握しておりません。財政計画については、現在、5年後、10年後のシミュレーションは作成していませんが、機会があるたびに新しいシミュレーションを作っていかなければならないと考えています。

道の駅季楽里あさひ

半年間の実績は

(滑川公英議員)

問 産業振興、地域振興、観光振興、防災機能を目的として、昨年10月17日にオープンした道の駅季楽里あさひの半

年決算について、少数の人にしか決算内容が分かっていないので、詳しい内容を報告願います。また、会議で売り上げの計画が甘いのではないかと指摘した経緯がありますが、事業計画は修正するのか。

答

道の駅の半年間の来場者数は58万8,000人、全体の売上げは、計画の2億4,228万円に対して、実績では3億7,064万7,000円となり、率にしますと153%となります。指定管理者である株式会社季楽里あさひの収支ですが、約700万円の純利益を計上しています。

今後の事業計画は、株式会社季楽里あさひで作っていくので、数値が修正されるかどうかは聞いていない状況です。

自治組織

自治会への加入を

(滑川公英議員)

問

平成27年度の各行政区への加入者数と、加入していない世帯にはどのように情報を伝達しているのか。また、自

治会には加入せず、権利は主張するが責務は知らないでは不公平ではないか。

答

平成28年4月1日現在、旭市全体での世帯数は2万5,590世帯で、各区からの申し出による加入世帯数は1万6,298世帯、加入率は63・7%となります。

未加入世帯への伝達については、まず新聞折り込みによる広報があり、新聞をとっていない世帯には、公共施設等に置いてあります。

市としては、転入者へチラシを作り、区の有義義さ、何かあったときの共助のためにもなるということを記したものをお配りして加入促進に努めています。

防災

車を使った訓練を

(磯本繁議員)

問

防災訓練については、毎年同じような訓練が行われ、参加される方々も限定的で緊張感が失われてくると思われる。今後は、車などを使って

避難訓練を検討し、実施すべきだと考えていますが、いかがでしょうか。

答

避難は、道路が狭い、堀などの倒壊により寸断される、液状化により通行できない道路もあるということで、原則徒歩ということになっていま

す。今年3月の津波避難訓練の時に、災害時要援護者の避難対策として、限定的な条件のもとに、車両を利用した避難訓練を実施したところです。場合によってはその避難経路を決めておくということ、壊れない道路だけであれば車も一部使用することも想定しながら、訓練を進めていきたいと思っています。

定住促進

空き家バンク制度の活用を

(磯本繁議員)

問

旭市では、空き家を利用したイターン、Uターン対策として定住促進奨励金を交付しているということですが、国が地方創生を重点施策に挙げ、



高橋 秀典
議員

1 福祉財政の現状と今後について

2 新しい総合事業における一般介護予防事業について

3 一人住まい高齢者への対応について

4 一般住宅の耐震化について
オリンピック・パラリンピック練習招致について



伊藤 房代
議員

1 学校給食について
2 公共施設のバリアフリーについて

3 コミュニティバスについて



木内 欽市
議員

1 農業問題について
2 観光について

3 教育問題について

4 人口減対策について

5 飯岡海上連絡道三川蛇園線について



テナントも好調な道の駅季楽里あさひ

全国の自治体の移住者支援策も年々充実しています。私の生まれた熊本県でも多くの市町村が定住、移住を促進させるため、空き家バンク制度をスタートさせています。市としては今度どのような施策を検討されているのか。

答

全国的にも行政が空き家バンク制度を取り入れ、中には成果を上げているという自治体もあります。近隣で行っている自治体もありますが、宅建協会との連携など検討の余地があると思っています。

また、空き家バンク制度に限らず、人の流れを作るための地域の魅力の発信や交流人口の増加のための施策については、今後もしっかりと実施していかねければならないと考えています。

福祉

一人暮らし高齢者への対応は

問

（高橋秀典議員）
高齢者世帯が増加する中、一人暮らし高齢者の方の孤独死をゼロにするための

セーフティネットを実現していかなければならないと思います。一人暮らし高齢者の方は市内に何人いらっしゃるのか。また、現状においてそうした方々の見守り、生活支援体制はどのようなになっているのか伺います。

答

一人暮らし高齢者の方は、平成28年6月1日現在で881人となっています。市では緊急通報体制整備事業や昼食を届ける際に安否確認も行う配食サービスを実施しており、サービスを使わない方を対象とした訪問調査を社会福祉協議会へ委託しています。昨年度からは高齢者地域見守りネットワーク事業を開始し、協定を締結した民間企業に、日常業務の中で地域の高齢者に対してさりげない見守りを行っていただき、何らかの異変を察知された際には関係機関へ通報していただくこととしました。

オンライン・プランニング

練習誘致活動の

現状は

（高橋秀典議員）



卓球で日独交流事業を行った総合体育館

問

県内においてはアメリカ陸上チームの事前練習やサーフィンの会場として有力候補となるなど、各地で具体的な誘致、招致の成果が見え始めています。そのような中、旭市における練習誘致の現況は。

答

卓球競技の事前キャンプ地誘致を進めていく上で、組織委員会候補地ガイドへの掲載が必要となります。このガイドへの掲載を目指し、総合体育館メインアリーナへの空調設備設置工事を発注したところで、工事が完了次第、組織委員会へ意思表明の申請書を提出する予定です。

また、7月にドイツから卓球

競技の選手団が来日します。日独交流事業を通じて旭市を卓球会場として紹介するとともに、今回、森田県知事がドイツを訪問することとなったことから、資料等を提供し、事前キャンプ地誘致の具体的な働きかけをしたいと考えています。

子育て支援

学校給食費の無料化を

問

（伊藤房代議員）
第3子以降の給食費をぜひ無料にできないかとの強い声が出ています。匝瑳市では、第4子以降の給食費は全額免除になっており、旭市は90%免除になっています。第3子以降の給食費の無料がすぐには難しいのであれば、まずは第4子以降の給食費を無料にできないか伺います。

答

給食費の減免につきましては、3人以上の小・中学生がいる家庭で3人目からの給食費を減免しているところです。

平成28年度は減免率50%の第



高橋 利彦
議員

- 1 旭中央病院について
- 2 行財政について
- 3 学校問題について
- 4 文化の杜公園について



飯嶋 正利
議員

- 1 財政について
- 2 小中学校のトイレについて
- 3 観光資源について
- 4 都市計画区域の見直しについて



有田 恵子
議員

- 1 竜王岬前の市の所有地について
- 2 旭市観光物産協会について
- 3 飯岡中学校新校舎外構工事変更契約について



太田 将範
議員

3子の児童・生徒が177人、減免率90%の第4子以降の児童・生徒が14人おり、減免に要する額は467万円となっています。

第4子以降の無料化については検討していきたいと思っています。

＜コミュニティバス＞

バス停に 椅子の設置を

（伊藤房代議員）

問

中高年になりますと車の運転も危ないということ、で家族からも止められます。そのころから医者通いが頻繁にな



ベンチが設置されている干潟地区ルート根方停留所

りますが、バス停で立っているのも大変だとの声も聞きます。

できれば椅子を設置してほしい、また屋根がつけれられるところには屋根もつけてほしいとの声が多くあります。バス停に椅子や屋根がつけれられないか。

答

コミュニティバスのバス停約200か所のうち、

ほとんどが歩道の整備がされていません。また、十分な幅員がなく、車からの安全が確保できなかったり、歩行者や自転車の通行の妨げになってしまうため、椅子、ベンチを設置しているバス停は、旭中央病院や旭駅などの14か所ほどにとどまっています。

一方で、利用者には多くの高齢者の方がいらっしゃるから、今後、利用状況を参考にしながら、安全性が十分に確保できるバス停については椅子、ベンチなどの設置も検討していきたいと思っています。

＜農業＞

病虫害の被害対策を

（木内欽市議員）

問

ジャンボタニシが今年は大変な問題です。米価が安くて稲作農家に、これ以上負担を

かけられません。県や国へ支援をお願いしたい。また、市単独での支援についてお聞かせいただきたい。

答

ジャンボタニシの被害は、今年も多く発生し、市として被害を受けた幾つかの圃場を確認しています。被害拡大防止には、水田の取水口にネットや金網の設置、貝及び卵の捕殺、田植え後の適切な水管理を行うとよいとのこと、市としては、情報をホームページなどを活用し周知していきたいと考えています。

現在、国・県の支援制度はありませんが、農業共済組合では被害状況により補償があると伺っています。今後、県と関係機関へ対策支援などを働きかけていきたいと考えています。

＜教育＞

子どものいじめ、 虐待対策は

問

子どものいじめ、虐待について、市はどのように把握しているのか。また、これに対する対策はどのようにしているのか。

答

いじめについては、毎月行っている月例問題行動調査により、認知件数及び内容について市教育委員会へ報告をさせています。平成27年度のいじめの認知件数は、小学校で21件、中学校で35件、合計56件となっています。正確に認知してしっかり対応していくことが大切だと思っています。

虐待については、旭市要保護児童対策地域協議会という組織を設置し、医療機関や学校などから虐待が疑われるようなことが発見された場合には、速やかに子育て支援課または児童相談所に通報や相談をいただいています。虐待の相談、通報の受け付け件数は、平成25年度は35件、平成26年度は25件、平成27年度は39件です。

学校の統廃合計画は あるのか

（高橋利彦議員）

問

少子化、過疎化、行政の効率化で、学校の統廃合は全国的な課題となっています。近隣の市町村でも急激に学校の統廃合が進められています。これも財政問題、それと文科省の公立小・中学校の統廃合の基準が数十年ぶりに見直された結果だと思っています。

答

統廃合の計画について、新基準に照らした場合の対象校と、統廃合した場合の学校数は、現在、学校の統廃合についての計画はございませんが、旭市においても少子化が進むことが予想される中、避け



伊藤 保
議員

- 1 子ども・子育て支援事業について
 - 2 旭市育成資金について
 - 3 就学援助について
 - 4 TPP環太平洋経済連携協定交渉について
- 1 屋内運動場の非構造部材の耐震化について
 - 2 環境衛生について
 - 3 震災時の業務継続計画について

ては通れない問題であると考えて、旭市学校のあり方検討委員会の設置を進めています。

学校統廃合の適否を速やかに検討するに該当する市内の学校は、小学校では8校、中学校ではありません。統廃合した場合の学校数は、現在計画がないため決まっています。

トイレの洋式化を

(飯嶋正利議員)

問 トイレについては、新しい学校はほとんど洋式化になっていると思いますが、学校によって、だいぶ差があるのではないかと考えます。現在の小・中学校のトイレの洋式の割合をお聞かせいただきたい。また、今後のトイレの改造というのは検討しているのか。

答

トイレの洋式化の割合については、小学校15校で50・3%、中学校5校で61・2%、小・中学校合計で53・5%です。

改築の時には、学校の要望もあり、トイレの洋式化は、だいぶ進めています。それ以外の既存の校舎についても、学校等の要望により、洋式化が必要だと

いうことがあれば、検討させてもらい、洋式化は進めています。

旭市育英資金の拡充を

(太田将範議員)

問 旭市育英資金の制度についての説明と、実際、どういった実態なのか。また、成績要件を廃止して、もう少し拡充する考えはないのか。

答

旭市育英資金の目的は、特に優れた資質を有しているものの、経済的理由によって就学が困難な方に資金を給付し、将来、旭市の発展と社会に貢献できる有為な人材を育成することにあります。学習成績と世帯収入額等の基準に照らし、給付の可否を審査しています。

旭市育英資金は、貸付型ではなく給付型であり、高校生が月額9,900円、大学生等が月額1万4,400円となっています。平成28年6月現在の育英生は33名で、高校生が7名、大学生等が26名です。

本市は給付型であることも鑑み、一定の学習成績を設けていますが、県にも給付事業や、学習成績の基準がない奨学資金制

度があり、併せて生徒に周知をしていきたいと思っています。

就学援助の拡充を

(太田将範議員)

問 就学援助ということ、小・中学生へ給食費や修学旅行費、学用品等に対して支援が行われていますが、どの程度の利用がされているのか。

旭市は就学援助率が低いというところで、いろいろ努力はしているようですが、どういう策があるのか。

答

平成27年度の就学援助費の支給状況は、小学生で113人、就学援助率は約3・36%。中学生で76人、就学援助率は約4・21%、合わせて189人、3・65%の就学援助率となっています。最近の就学援助率は、おおむね3%から4%台で推移しており、ほぼ横ばいの状態です。

現在、この制度を幅広く保護者の皆様に知っていただくために、市のホームページ、子育てガイド等へ掲載しているほか、学校を通して毎年全ての保護者の方に対してチラシを配布して、その中で就学援助の制度の周知

に努めているところです。

都市計画

計画の見直しは

(飯嶋正利議員)

問

都市計画区域は、旧旭市全域にかかっています。

これを全て新たに見直すということになれば、当然、旧3町も全域がかかることとなりますが、現在区域になっている旧旭市の見直しについては全くしないのか。

答

また、今後の都市計画地域見直しの説明会のスケジュールは、都市計画区域としては拡大させる方向で考えていくということ。しかしながら、旧旭市の区域も、土地利用の状況を考え、用途地域の区域、また都市計画決定から長年未整備となっている街路、公園、都市施設については、良好なまちづくりの観点から見直しも必要であると考えています。

説明会は、市内全域で実施いたします。また、都市計画決定をする上では、市内全域で一つのまとまりのある都市計画とし

て変更する必要があると考えています。

契約

軽微な工事とした理由は

(有田恵子議員)

問

飯岡中学校新校舎外構工事変更契約について、ウエルポイント工事を重要な工事とせず、軽微な工事とし、この費用が確定し、かつ工事も完了し、その4か月後に過大な見積もり2,700万円の予算を議会に

答

ウエルポイント工事を軽微な工事とした理由ですが、県土木工事請負契約に係る設計変更等ガイドラインにおいて、構造方法、位置、断面等の変更で重要なものの、請負代金額の20%を超えるもの以外のものを軽微としています。この軽微な設計変更に伴うものは、工期の末をもって足りるとされています。また、工事の設計については、官積算で行う取り決めがありますので、それに基づいて行いました。

観光

過大な補助金では

(有田恵子議員)

問

旭市観光協会と飯岡観光協会は解体し、旭市観光物産協会に生まれ変わり、27年度に市から補助金約1,500万円が投入されています。この額は協会の年間予算の97%に当たり、会費としては、わずか25万円しか徴収されていません。単なる任意団体に対して、なぜ大盤振る舞いの補助金を出したのか。

答

パンフレットの作成、またホームページの作成等があり、平成27年度は多くなっています。平成28年度の補助金については、全部で1,040万9,000円です。内訳ですが、人件費として588万円ほど、事務費として115万円ほど、支部及び構成団体の補助金として337万8,000円となっています。

会員が少ないということについては、昨年できた団体ですので、観光物産協会としては、会員の加入促進に努めている状況

です。また、会費については、観光物産協会内部で検討する事項と考えています。

環境

墓地に対する相談は

(伊藤保議員)

問

旭市には法のものとの信教の自由という本来の公営墓地としての条件を持った墓地がありません。墓地・埋葬等に関する法律では、「埋葬または焼骨の埋蔵は、墓地以外の区域に、これを行ってはならない」とされ、公衆衛生上、遺骨を勝手に散骨と称してまいたりはできません。市では共同墓地の管理者は掌握していますか。また、相談によって、共同墓地の管理者の住所や名前は相談して聞けるのか。

答

旭市の墓地台帳により、墓地名、所在地、管理者、経営者、また管理者の住所、墓地の面積等の管理は行っています。相談があった場合には、地域ごとの台帳区分がありますので、墓地の所在や管理者のことについてはお教えることができます。

新庁舎

早期建設を

(伊藤保議員)

問

旭市の本庁舎は、熊本地震で使用できなくなった5市町の庁舎と同時期に建設されています。耐震診断の結果はどうなっているのか。

また、益城町の町長は、防災機能のあるところに庁舎を造るべきだとテレビで語っていたと伺いました。市としてはどう考えているのか、見解を伺います。

答

国が定めている建物の基準数値はIS値が0・6以上、特に官庁施設等の重要なものについては0・9以上が望ましいということです。本庁舎の耐震は、2階中央の吹き抜け部分がIS値0・26、屋上にある塔屋部分が0・23で、国の基準でIS値0・3未満は倒壊する危険性が高い建物になります。本庁舎は、大きな災害が起きた時に大きな役割、本所となるものです。旭文化の杜公園も災害時には広域の避難場所、物資の

きると思います。

議会だより編集委員会 行政視察報告

去る5月11日・12日、議会だより編集委員会の行政視察を京都府長岡京市にて行いました。

長岡京市議会だよりは、市民と議会をつなぐ情報誌として昭和49年7月創刊、定期発行を年5回、および改選等の際の臨時発行があり、1回に3万6,200部を基本に発行しているとのことでした。

視察をして、本市と大きく異なる点が何点かありました。まず、編集作業は、原則として議会事務局が行っており、議員の関与は、一般質問の掲載項目の確認が主なものとなっています。

2点目に、議会だよりの配付についてはシルバー人材センターと配付委託の契約を行い市内全戸配付を実現している点です。このことは、本市議会だより編集委員会においても、今後調査・研究して検討課題にすべきと感じました。

また、編集方針については、見やすさ、読み

やすさを重視するということで、特に一般質問の記事は、写真を含め一人一段で非常に見やすくレイアウトされており、今後の参考にすべきと思った次第です。

このような研修は当委員会にとって大変有意義なものであり、今後も引き続き、必要な行政視察を行うことによって市民に分かりやすく親しまれる、また、議会の活動について理解を深めていただくような紙面の充実をしていきたいと思っています。

終わりに関係各位のご尽力に対しまして、深く感謝を申し上げます。



編集方法について説明を受ける議会だより編集委員

集積拠点などの役割を担っています。本庁舎と現在候補地となっている旭文化の杜公園が隣

接すれば、災害に備える機能が強化でき、市民を守るとりどして使えろと考えています。

建設経済常任委員会

6月17日(金) 午前10時～
1議案の審査

建設経済常任委員会審査の様子



議案第1号

問

平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について飼料用米等流通加速化事業、産地パワーアップ事業、畜産競争力強化対策整備事業の導入後の効果はどのようなものか？

答

飼料用米等流通加速化事業では、専用乾燥機とフレキシブルコンテナバック用設備の導入により、作業効率の上昇や出荷作業の負担軽減が見込める。

産地パワーアップ事業では、集出荷場の面積拡大と移動式梱包ラインの設置により、時間短縮と人件費の削減が見込まれ、出荷コストが削減できる。

畜産競争力強化対策整備事業は、酪農関係では搾乳ロボットの導入により、搾乳頭数に関係なく対応が可能となる。養豚関係では、肥育豚舎や分娩舎の整備による経営規模の拡大、また、排せつ物処理施設の整備により、良質な堆肥が作られ、地域循環型の農業が構築できる。

文教福祉常任委員会

6月20日(月) 午前10時～
2議案、請願2件、陳情4件の審査

委員会終了後、広域ごみ焼却施設建設予定地を視察



議案第7号

工事請負契約の締結について(旭市立第一中学校大規模改造工事)

問

工事箇所について、普通教室も含まれているが、授業に与える影響を、どのように回避するのか。また、工期はどのくらいか？

答

先生方にも工程会議に参加してもらい、スケジュールや工事内容を説明し、改修工事の順番を検討する。また、音のでる工事等については、授業終了後や夏休み等に集中して行う。工期は、来年8月31日までとなり、約1年2ヶ月を見込んでいます。

問

今後ほかの学校においても、エレベーターの工事というのは必要になってくるのか？
第一中学校は、国の補助金をもらって行う大規模改造工事であり、今後ほかの学校で行う時には、エレベーターの設置の是非についても検討していきたい。

総務常任委員会

6月21日(火) 午前10時～
7議案の審査

委員会終了後、新庁舎建設候補地4か所を視察



議案第5号

財産の取得について(はしご付消防自動車 1台)

問

新しいはしご車は、現在のものと比較してどのくらい性能があがっているのか。

答

大きく分けて5点ほど、機能面が向上している。1点目は、はしご車専用の車体で回転半径が小さく、小回りが効く。2点目は、はしご車先端のバスケットが大きく、大人4人が搭乗可能である。3点目は、先端のバスケットと昇降機が同時に使用できるため、迅速な救助活動が可能となる。4点目は、はしご車の先端が屈折することにより、電線や建物屋上の手すりを乗り越えることができる。5点目は、伸縮水路管装置により、はしご車の伸縮、旋回、屈折時でも自由な放水が可能となる。

問

はしご車は何年使われているのか。

答

現在配備中のはしご車は平成3年3月に配備され約25年が経過している。

平成28年第2回定例会 審議結果一覧

○=賛成 ×=反対 議=議長 ※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
			林 晴道	高橋 秀典	米本 弥一郎	有田 恵子	宮内 保	磯本 繁	飯嶋 正利	宮澤 芳雄	太田 将範	伊藤 保	島田 和雄	平野 忠作	伊藤 房代	林 七巳	向後 悦世	景山 岩三郎	滑川 公英	木内 欽市	佐久間 茂樹	林 俊介	高橋 利彦	林 正一郎
市 長 提 出 議 案																								
1	平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	旭市議会議員及び旭市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	旭市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	財産の取得について（消防ポンプ自動車 1台 干潟分署に配備）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	財産の取得について（はしご付消防自動車 1台 本署に配備）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	財産の取得について（高規格救急自動車 1台 干潟分署に配備）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	工事請負契約の締結について（旭市立第一中学校校舎大規模改造工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	旭市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	専決処分の承認について（旭市税条例等の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	専決処分の承認について（旭市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	専決処分の承認について（旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委 員 会 提 出 議 案																								
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	難病・疾病対策の充実を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願																								
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	国における平成29(2017)年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳 情																								
2	公立保育所の一般財源化を廃止し、直接補助制度に戻すことを求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3	保育士不足を解消するため、保育士の処遇を大幅に改善することを求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4	子育て費用の家計負担軽減化を図るために保育料の低減化を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
5	難病・疾病対策の充実に関して国等への意見書の提出を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

議会を
傍聴
しませんか

第3回定例会が9月1日
(木)から行われます。
議会開会中は、議会を傍
聴することができます。希
望される方は、市役所3階
までおいください。

なお、市役所本庁と各支
所ロビー、干潟公民館、飯
岡福祉センター、総合体育
館のテレビで、本会議の様
子を放映しています。

また、市ホームページで
は議会ライブ中継及び議事
録の公開をしております。

さらに、議会録画中継
(本会議も日程終了後のお
おむね7日程度で視聴する
ことができますので、ぜひ
ご利用ください。

詳しくは議会事務局へ

☎ 62・5304
FAX 62・5384

平成28年度

旭市子ども議会



7月27日に本庁舎3階の議場で、平成28年度子ども議会が開催されました。

一般質問を行ったのは、市内小中学校20校から22名の子ども議員で、議場で行われる定例会本番さながらの一般質問の模様を体験しました。

議事進行役は旭市議会の平野忠作議長が務め、市長をはじめ教育長、各課長が質問に対して答弁にあたりました。

市政に対しての質問では、安全な通学路や公園施設の整備、環境対策、子育て支援策など多岐にわたり、活発な議論が行われました。

子ども議会終了後、平野議長、明智市長たちと記念撮影

■根本 優希(中央小)

●旭市の公園について

■城之内 日和(中央小)

●旭市の歩道整備について

■鷺山 宙(琴田小)

●旭市の防災対策について

■稲垣 真依(干潟小)

●旭市の九十九里海岸の観光PRについて

■小林 紗奈(富浦小)

●海岸の環境・ごみ問題について

■柴 璃音(矢指小)

●防災に関する取組について

■神崎 渉牙(共和小)

●旭市の観光施設について

■高橋 孝介(豊畑小)

●子ども達にとっての理想の公園

■石毛 悠斗(鶴巻小)

●手入れの行き届かない道路について

■飯田 承太郎(滝郷小)

●安心して登下校できるようにするためには

■飯村 一花(嚶鳴小)

●道の駅「季楽里あさひ」の今後について

■柴山 裕介(三川小)

●コミュニティバスについて

■向後 結空(飯岡小)

●私たちの公園をもっと楽しくするために

■菅谷 快星(中和小)

●コミュニティバスの利用について

■石田 歩睦(萬歳小)

●萬歳地区の公園の整備について

■林 慶汰(古城小)

●長熊公園の整備について

■鈴木 遥(第一中)

●少子化による小中学校の存続について

■菅原 大智(第二中)

●通学路の整備について

■名雪 弘哉(第二中)

●公園の整備について

■若松 千智(海上中)

●資源ごみについて

■山口 大智(飯岡中)

●新校舎移転にともなう通学路の安全整備について

■関本 晨元(干潟小)

●旭市の子育て支援策について

旭市議会だより編集委員会

委員長 高橋 秀典
副委員長 宮内 保
委員 米本 弥一郎
委員 林 晴道

「日常の備え」が大切です。ご家族で防災グッズの準備・点検や避難場所の確認などをして、防災意識を高めましょう。
(委員・米本 弥一郎)

本日、九月一日は「防災の日」です。この日は「政府、地方公共団体等防災関係諸機関をはじめ、広く国民が、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害についての認識を深めるとともに、これに対する備えを充実強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減に資するため」設けられています。本市でも四日には総合防災訓練が共和小で、十日には「震災から五年」見つめ直そう 私たちに出来る事」が東総文化会館小ホールで開催されます。

「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉は「備えを忘れた頃にやってくるから災害になる」と言い換えることができます。

編集後記

